### 発行 府中市消防団

編集 府中市消防団広報委員会 (府中市総務管理部防災危機管理課内) (TEL 042 · 335 · 4068)

【消防団出動件数(令和5年1月から12月まで)】 災害件数(誤報を含む) 災害出動延べ人数 2

その他出動(訓練など)件数

67件 2,761人 202件

府

中市消防団

出初

式

令和5年度歳末特別警戒を実施しました。

特

別

戒

広報委

員長コラム

令和6年1月7日(日)府中公園

令和6年1月7日(日)、 中公園において挙行されま る府中市消防団出初式が、 新春恒例の伝統行事であ

力を尽くすことを固く誓う 地域の安全・安心のために からの激励を受け、改めて 頃からの訓練の成果を発揮 もに、団員にとっては、日 勇姿を市民に披露するとと し、ご臨席いただいた方々 この出初式は、消防団の

客を魅了する素晴らしい演 技が披露されました。 進、梯子のりが行われ、 防組による伝統の木やり行 ド、また会場内では、睦消 場でもあります。 ンプ車等による市内パレー 式典に先立ち、22台のポ

ました。

15年の団員の方々に感謝状 合図に式典が始まり、表彰 永年勤続表彰として消防団 が授与されました。 では高野市長から消防団歴 続いて、本間団長から、 田中副団長による半鐘を

5年の団員の方々に表彰状



が授与されました。

分団、第18分団が表彰され第9分団、第11分団、第12 署長より、 引き続き、沼尾府中消防 第2分団、 優良分団表彰と 第8分団

分団、第4分団、第5分団 第1分団、第2分団、第3 長官表彰が授与されました。 れた方々に、総務省消防庁 による一斉放水が行われま 団によるポンプ操法演技と 年3月末日をもって退団さ 年ご活躍いただき、令和5 また、消防団員として長 式典の終盤には、第6分

▲一斉放水

設置し、消防ポンプ車にて警戒区域内に対する

巡回広報活動を実

ターに、分所を各防災センター

(分団詰所) に

3日間で行い、

警戒本部を府中市中央防災セン

広報委員長 第8分団 団員

大清水 航

話になっておりま

平素より大変お

いただゝて、、委員長を務めさせて

東部ブロック長広 報 委 員 長

第 第 11 4 8 分 団 団

水澤

いただいております、

この歳末特別警戒は、

毎年12月28日~30日の

を2日間に分けて 行い、各分団に対 センターへの巡察 消防署長が各防災 議会議員及び府中 をいただきました。 して激励のお言葉 いては、市長、都



ちろん、各地域の皆様との交流活動もさせて

だいており、今回の『消防団だより』には一うろん、各地域の皆様との交流活動もさせてい私たち消防団は、有事の際に備えた活動はも

ただいており、今回の『消防団だより』には

解・ご協力を賜り御礼申し上げます。

地域の皆様には、日頃より消防団活動にご理

東部広報委員

第1分団

第3分団 第2分団 第 12 分 団

第8分団の大清水と申します。



▶団本部による巡察の様子

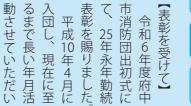
くお願い申し上げます。











動が出来ている事を感謝しております。 長よりお話をいただき入団いたしました。 諸先輩方、多くの団員に支えられ現在まで活

けは、中田前副団

入団するきっか

第3分団

第1分団

健太郎

17 名

第3分団

池田

克朗

勇二

5 分 団

5年勤続 7 分 団

19 名

比留間 内海 森田

髙野

浩 太正浩裕 郎大一哉惇

第 第 第 第 第 16 16 15 13 13 分 分 分 分 分 団 団 団 団 団

員員員員員 市中増越築川村田智山

純良哲昌忠一信也弘泰

ております。

▲睦消防組による梯子のり

締め活動してまいります。 りますが貢献できるよう、 万ならびに団員と共に、 今後も引き続き消防団活動に従事し、 府中の為に微力ではあ 新たに気持ちを引き 諸先輩

> 第2分団 第2分団

大久保

和成

幹雄

第11分団 第10分団

繁喜 柾人

岡松乗小梅小村林村田澤澤園木井

健直太 太一康人樹一新心輝真

第 第 第 第 第 18 17 16 15 14 分 分 分 分 分 団 団 団 団 団

員長員員員

小瀧市重石林井川城川

大 英 広 和 大輔 明 光 樹 輔

第12 分団

寸

村野

第12分団 副分団長 安田 剛

事して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろし今後も本間団長の指揮の下、消防団活動に従身近に感じていただけましたら幸いに存じます。

だきました。ご覧いただき私たち消防団をより部ではありますが、その内容も掲載させていた

事して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろ

彰	

第12分団 副分団長 安田

第1分団

■25年勤続(1名)

第18分団	第16分団	第16分団	第14分団	第13分団	第10分団	第10分団	第7分団	第6分団	第3分団	第 3 分団	2 年	
副分団長	部長	副分団長	分 団 長	副分団長	部長	副分団長	団員	副分団長	部長	副分団長	24	1
上野	小林	市川	小沼	小 林	島田	滝島	林	甲	田代	岩波	2	
恒章	正和	広世	浩二	司	大介	康裕	耕多郎	博幸	俊介	伸和		
写 1 分	4 1	4 1 分 分	第 2 分 団	第1分团	第3分团	第7分团	第7分团	第5分団	第3分别	第1分団		· 5. 夕15

幸将裕雅健高謙裕祐人太樹治志輔貴	智則
No.	第18分団
in a	員
<b>EYE</b>	横田
	白瓜

班部団分班部副

桒石神夏本渡金細吉田川戸目木邉子野湾

動 続 18	名)				
副分団長	小林	洋 平	第 15 分団	団員	松村
部長	小倉	俊秀	第15分団	団員	澤井
団員	横田	真治	第17分団	副分団長	伊藤
団員	髙木	稔	第18分団	班長	山浦
		]	3	]	ŧ

|部広報 部広報委員 // // // 委員 第 13 分 団 第10分団 第7分団 第 17 分 団 第6分団 第 5 分団 第9分団

室市增末藤齋小鴨小鈴山安山向橋桑倉大海村本川田吉原藤島下林木田井口井浦名嶋清老井間 描 哲 裕 光 拓 清 貴 研 辰 奉 健 正 博 太 堅 皓 拓 樹 潤 也 希 輔 海 匡 仁 人 朗 幸 浩 和 文 郎 也 矢 航 馬

副会 報委員会名簿 拓 雅

広



餅を焼いて食べたりして無病息災を願い、また、お正月にお迎えした 神様をお送りする日本の伝統行事です。青竹を骨格とし、わらを使い 朝日町と多摩川に隣接する地域ですので、河川敷火災にも出動します 三角柱の櫓(やぐら)を組み、これに火を投じて松飾りなどを燃やし 祈願成就した「だるま」などを持ち寄って焼き、 ています。警戒区域は、押立町全域で、出動区域は小柳町、 行事である、「どんど焼きの集い」の警戒消火活動にも出動しています その多摩川河川敷で毎年成人の日に開催される、地域のコミュニティ どんど焼きとは、お正月に使った門松やしめ縄、 私たち第1分団は、 小林佑司分団長を筆頭とし総勢20名で構成され その火にあたったり お守り、

破魔矢、

燃えないよう事前の放水作業を行います。火を投じてから、2時間ぐらいから放水、消火作業が 鳶口を使用し、 確実に消火していることを目視、確認し、 (やぐら) に、火を投じる前、河川敷周辺の草木に火の粉が飛び どんど焼きの消火活動が終了と

始まります。

ご理解をいただけるよう活動してまいります。

どんど焼きは地域の大切な行事のひとつです。これからも住民の方々と交流を図り、消防団活動への

落ち、

博文

第1分団 班長 向井



ります。警戒区域は白糸台エリアで、 有しております。 私たち第2分団は、田中一彦分団長を筆頭に現在21名で活動してお 東部地区唯一の照明電源車も保

の安全確保のために活動しています。 救助活動、警戒活動など、幅広い消防活動に駆けつけるという、 についての会議を行っております。いざという時には地域の消火活動 日頃の活動としては、火災時に対応するための訓練や、分団の運営 地域

るファイアの集い等、 災訓練や救助訓練のお手伝い等もさせていただいております。 ます。その他にも、 地域密着性の一つとして上記写真の府中第四小学校で行われ 白糸台文化センターで行われる地域住民が集う防 地域のイベントにも協力させていただいており

今後とも消防団活動へのご理解ご協力の程よろしくお願いいたします

地域の皆様と協力しあいながら、より強固な地域防災体制を築けるよう日々努めてまいりますので、

中

市

第2分団 部長 山口 正和



葉丘、朝日町、多磨町、是政、清水が丘になります。 います。警戒区域は小柳町、 我々第5分団は、内海展行分団長を筆頭とし総勢22名で構成されて 出動区域は小柳町、 押立町 白糸台、 紅

防車かららく車を消火栓まで下ろし、万が一に備えて待機しています の納涼花火大会で、運営協議会からの要請により出動しています。消 その言葉が我々消防団の日々の活動の励みになっております。 この時に地域の方々から応援の声や労いの言葉をいただくことがあり、 上記の写真は令和5年7月28日ボートレース多摩川 (多摩川競艇場)

その際も傷病者から必ず離れる。

④電気ショックを行う。

③自動で心電図解析が始まる。

ようにして貼る。

解析中は傷病者に触れない

団員

山田

奉幸

•••••••

第11分団

班長

桑名

堅也

# 救命講習会およびAEDについて

## 救命講習会

白糸台、

とを改めて勉強でき、とても有意義な講習会となりま 急隊が到着するまでに素早く応急処置をするのとしな 心急処置や、AEDの使い方などを教わりました。 いのでは、その後の回復、生存率に大きな差が出るこ しております。今回の救命講習会では、 府中市消防団では、緊急時に備え救命講習会を実施





## AED(自動体外式除細動器)とは

きます。

照明操作パネ

ルは、

高さ・向き・角度の操作がで

り救助者に使用方法を指示してくれ うかを判断します。 図を解析し電気ショックが必要かど と、機器が音声メッセージなどによ で、電源ボタンを押すか蓋を開ける にも支障がなく、 装置を内蔵した医療機器です。心電 AEDは高性能の心電図自動解析 操作は非常に簡単 小型軽量で携帯



沽用できます。

第12分団

団員

橋浦

太郎

で効果を発揮-

します。

100

/ セントは、電源が確保出来ない時に

可搬型照明は、照明電源車での進入が難しい現場





令和6年能發

豆半島地震によりお亡くなりになられ



付を行い、集まった義援金を日本赤十字社を通じて

なお、府中市消防団出初式にて、災害義援金の受

被災地へ送金しました。

たすべての方々に心よりお見舞いを申しあげます。 た方のご冥福をお祈りするとともに、被災されま-



②電極パッドを傷病者の胸に貼る

電極パッドを貼る位置は右胸の

上と左脇の下で心臓を挟み込む

①電源を入れる。

AEDの使い方



お詫びと訂正

ましたので、 令和5年7月発行、消防団だより第58号に掲載 ております記事において次のとおり誤りがあり お詫びし、訂正させていただきます。

「令和5年度新入団員」名簿中 2行目 第4分団 高木 奎亮」は、正しくは 岩崎
奎売」です。

## 府中市 7防団 照明電源車のご紹介

ています。夜間の火災及び災害に出場し消防隊等の 活動をサポートします。 府中市消防団では、2台の照明電源車が配備され

いたします。 照明電源車に装備されている機材等の一部をご紹







